

# 保科晶の雑記帳

2008



## 「ひねくれ一茶」

---

年末から読み出して年をまたいで読み終わった。

「一茶」はなんとなく好きになれないでいた。

プレゼントになにがいい？というのに、本がいい、というところで、  
なににしようか、藤沢周平の一茶を本屋で見ても、  
いや田辺聖子が読みやすそうだ、  
まずは贈る前に読んでみよう、と。

読み出して驚いた、どんどん読める、読めるだけじゃない、  
まるで映画を見ているように、景色が現れて進んでいく。  
一茶は旅が好きだ、一茶と一緒に旅に出る、  
一茶は人が好きだ、一茶と一緒に人と会う。  
かといって一茶が好きになるわけじゃない、  
こんなオッサンがそばにいると大変だ、と思うこともある。  
お江戸が好きで嫌いで、ふるさとが嫌いで懐かしくて、  
俳句が好きで好きで、  
芭蕉や蕪村が前にいて。  
赤ん坊や小さい動物が好きで、家庭が欲しくて、旅に出るのが好きで。  
方言が満載で。  
田辺聖子さんは一茶のそばにいたの、と思うくらい、  
本の中に一茶を生き返らせている。  
最後は何度読んでも涙があふれてくる。

田辺聖子の評伝は、「道頓堀の雨に別れて以来なり」

「花衣ぬぐやまつわる・・・」とこの「ひねくれ一茶」の3冊読んだが、  
これが一番面白い。

五木寛之さんがこの本の後ろの解説で、「兜を脱いだ」と書かれているが、  
私も同じ感想です。

田辺聖子さん、あなたはほんとに素晴らしい作家だなえ！



[「ひねくれ一茶」](#) [2008-01-03 18:29 by guminomi2]

宵戎。

---

今年は9日、宵戎に行ってきた。

去年は本戎、その前は何年も残り福。

飾り物を買いたいと思いつつ、

結局は福笹を買ってしまう。

飾り物はお店やさんで、

福笹は巫女さんが売っているから、

こっちの方がご利益がありそうかも、というせこい理由。

商売繁盛、家内安全、五穀豊穡。



[宵戎。](#) [2008-01-12 23:27 by guminomi2]



阪神大震災13年。

---

また一年追加。

蠟梅の季節。



[阪神大震災13年。](#) [2008-01-17 23:20 by guminomi2]

雪が降る。

---

雪が降る。

小止みになると、

午後4時半の、

屋根の白さが浮かび上がる。



[雪が降る。](#) [2008-02-09 16:34 by guminomi2]

今年もまた、

---

雛とあう。



[今年もまた、](#) [2008-02-24 16:13 by guminomi2]



## 「どぐさい」

---

私の田舎では、要領が悪くて、のろくて、もたもたしていることを、「どぐさい」という。

親が子に「どぐさいな！」

人に「あいつはどぐさいやつじょ！」

丁寧語の少ないところなので、直裁である。

今でもこの言葉が健在であるかは知らないが、今朝何十年ぶりに突然思い出した。

実に私がどぐさいことをやったからである。

新聞や広告紙を束ねようとしたとき、あっちにするり、こっちにするり、

パチッといかない。いらいらして、ぴったりの言葉が出たのだ、実に「どぐさい！」

私のように、もともとのろいのがどぐさくなって、いらちになると始末におえない。

歳をとるとまさしく、のろくなって、どぐさくなって、いらち（せっかち）になる。

一日が、こんな三拍子で過ぎるときは、お手上げなので、あきらめて、

「家政婦は見た！・・・」などを見る。





梅見。

---

今年は花芽の付きが悪い。  
かすかな梅の香は大好きですが。



[梅見。](#) [2008-03-20 23:17 by guminomi2]



花衣。

---

花衣 まといし今日の 花見かな





[花衣。](#) [2008-04-05 21:15 by guminomi2]



憲法記念日。

---

昨日の曇天がうそのよう。

皐月の風に黄緑がゆれている。

空は静かだ。

明日のことや、明後日のことを考えられることを思う。

来年も、次の年も、そのまた次も。



[憲法記念日。](#) [2008-05-03 14:18 by guminomi2]

5月の雨に、

---

野生の芥子の花はこの季節心惹かれる花の一つ。

いつの間にやら咲いていていつの間にやら、はらりと散っている。

はかなげな花の色、ほんの小さな隙間にも、ひょいと出てきて、

いつの間にやら、子孫をふやしている。

ずいぶんと前、一度プランターに植えてみたが似合わない。

子どもころの田舎ではどこの家にもあでやかな芥子の花がいっぱい、

私はこの芥子も大好きであったが、つくれなくなって、

いまは野生の一重の小さな芥子を眺めている。



雨の滴

[5月の雨に、](#) [2008-05-24 18:53 by guminomi2]

## ワンコイン・プレ・レクチャー

---

～発見！あなたの「メリー・ウイドウ」～

芸文センターに行ってきました。

4月、5月、6月と3回シリーズ。

1回目、演出家のお話、外国オペラを日本に誘致したとき、指揮者カルロス・クライバーのことなど。

イタリアオペラの舞台裏、昔のオペラ歌手のARIA。

歌手の名前、忘れてしまった！すてきだった。

2回目、演出家と音楽評論家のトーク。

オペレッタの歴史、フランツ・レハールのこと。

印象に残ったのは、モーリス・シュバリエの映画「メリー・ウイドウ」よき昔のパリがいっぱい！というような、なんとも楽しい映画の場面。

ああ！全部見たくくなりました。

3回目、別の音楽評論家のお話、今回は、生演奏付き。

主人公ハンナのソロ、ハンナとダニロのジュエット。

最も楽しかったのは、7人の男たちの歌とダンス。

西洋の仕種が違和感なくあふれていた。

男たちのラインダンスも様になってたぜ！イエ～イ！

そんなわけで、こんな洒落た催しがなんと！1回、ワンコイン（500円）。

これで、「メリー・ウイドウ」絶対見に行くわ！

と、ならないところが、ままならぬ世の中、世の中、とはつまりワタクシ。

歌のない執事役、というのがありますが、

この役、なんと、有名な落語家！昔から知っている人、あの声、あの笑い方、合わへんなあ？？一瞬で「やめとこ！」

ゴメン、落語家さん、ゴメン、芸文センター。

でも、ワンコイン・プレ・レクチャーは面白かった！





[ワンコイン・プレ・レクチャー](#) [2008-06-05 15:46 by guminomi2]



梅雨の頃。

---

活きのいい草に囲まれてアジサイも  
気持ちよさそう。

草の中にくっきりと赤い花が見える。

この季節は花も木も草も元気がいい。



[梅雨の頃。](#) [2008-06-28 23:00 by guminomi2]

## 7月からビスタ

---

に、なったが、ビスタの便利な機能を使いこなすところまでいっていないので、前（2000）とあまり変わらない状況である。

画像ソフトを起動しなくても参照ボタンから画像が見られ、大きくも小さくも見方をいろいろ変えられるところはとても便利。

複数のウインドウをタブキーでくるくる動かせたりするのは、面白いけれど、このあとをどうするか、というところまでいってないので（私の実力が）、これだけでは、なんじゃらほい！という感じ。

キーボードの高さが低くなって打ち間違いが多くなったり、液晶にまだ慣れない、というところはあるが、おおむね私は気に入っている。歳をとると、前のことを忘れてしまうので、新しいものに慣れるのは好都合かな。ま、ぼちぼち新しい機能も覚えて使っていないとね。

せっかくなら、せっかくついているんだから。

そんなところで、何となく大して抵抗感もなく使っている。

それもこれも、私にあったようにセッティングしてくれたサポーターのおかげかな。



[7月からビスタ](#) [2008-07-17 23:08 by guminomi2]



ここは？

---

どこでしょう？



[ここは？](#) [2008-07-22 22:23 by guminomi2]

## TVで天神祭。

---

連日のカンカン照りでバテ気味ですが、  
祭りは大好きです。  
行く元気はないので、毎年高みの見物（TV）です。

大昔の会社の先輩が、今頃世話役の大御所にでもなっているんじゃないかと、TVをじんじろじと眺めたりします。

天満宮の近くに住んでいて、天神祭が大好きな天神様の申し子みたいな人でした。



[TVで天神祭。](#) [2008-07-25 22:18 by guminomi2]

フーガの技法。

---

オルガンから、はじまって、  
途中からピアノ。やはり、ピアノのほうが好き。  
グールドのハミングも入って、泣けてくる。  
グールドのバッハが一番！なんとも。



[フーガの技法。](#) [2008-07-28 23:13 by guminomi2]



## 「冬そして夜」

---

S・J・ローザン/直良和美 訳

この作者のものははじめから全部読んでいる。

リディア・チンとビル・スミスが交互に活躍する探偵ものだが、

2巻「ピアノ・ソナタ」

8巻のこれが好き。どちらもビルの巻。

チンの巻はチンが中国系ということもあって

中国の風習を説明しすぎるきらいがある。

ビルのほうが自然体になっている。

今回はアメリカンフットボールの内情を書いている、

普遍的なアメリカ人が少しばかりわかった気がする。

西部劇の時代の心情が色濃く残っているような気がする。

男社会だな。（想像でしかないが）

ビルはピアノが好きだ。そのピアノの好みが私と似ているのだ。

そっくりとっていい。

ローザンの目線が好きだ。庶民の目線で揺らぎがない。

訳者とぴったりだ。翻訳ものは訳でまるっきり変わってしまう。

長編は最近苦手だが、長さが苦にならず、次はなに、次はなに、と

家事を手抜きで読んでしまった。

これでおしまいなのかなあ、この人のものは、もっともっと読みたい。

私は創元推理文庫が好き。

あの鍵マークをみるとわくわくしてしまう。



[「冬そして夜」](#) [2008-08-04 22:58 by guminomi2]

## 「見過ごされた被爆」

---

8時15分TVの前、広島。

夜8時、NHKスペシャル、見る。

国とは？

科学者とは？

調べもしないで残留放射線はない、といえるのか？

知っていても切り捨てていける科学者の良心とは？

なんの痛みも感じていないようなアメリカの科学者。

それをまるのみ利用している国。

調べれば、核実験を行っている国には被爆者はたくさんいるんじゃないだろうか？

国って誰のためのものなんだろう？

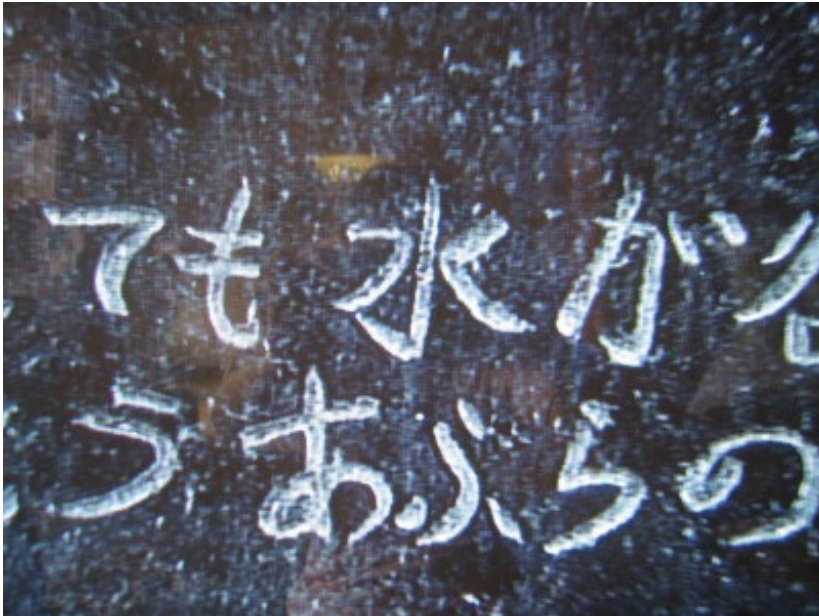


[「見過ごされた被爆」](#) [2008-08-06 22:33 by guminomi2]

8月9日・午前11時2分・長崎。

---

高校生が進行を担当してとても自然に、誠実に、洗練されていて、昔から開かれていた長崎を感じました。市長の宣言文もとてもよく、こちらも誠実に、いうべきことをはっきり言い、なすべきこと、国のやるべきこともしっかり言っていました。始めから終わりまで式典を見ることはあまりないのですが、今回は見ました。核廃絶こそ人類の生きる道、私も昔からそう思っていますが、いまだに行動に移しておりません。勇気を持つのは難しいです。



[8月9日・午前11時2分・長崎。](#) [2008-08-11 15:43 by guminomi]



終戦記念日。

---

朝3時頃の通り雨を跳ね返したかのような激しく暑い日です。

静かな終戦の日です。

これから先、長く長く静かな終戦の日をむかえたいものです。

兵器をつくって生活をしている人がいる。

核兵器をつくって生活をしている人がいる。

兵器をつくらせている人がいる。

核兵器をつくらせている人がいる。

兵器を使う人がいる。

武器商人がいる。

そして核兵器を使いたがる人がいる。



[終戦記念日。](#) [2008-08-15 14:33 by guminomi2]

秋 来ぬと . . .

---

通り雨があって、風が涼しくなりました。



[秋 来ぬと . . .](#) [2008-08-21 22:59 by guminomi2]



ネコジャラシが風に揺れて・・・

---

薄紫のしじみ蝶が盛んに飛び回っている。

蒸し暑い9月の始まりです。



[ネコジャラシが風に揺れて・・・](#) [2008-09-02 22:52 by guminomi2]



土手に、

---

風鈴草（と私が呼んでいる）が咲いている。

ひよんなことから、胃腸の調子をすっかり狂わせてしまった。

やわな心がちょっとうらめしい。

グールドが聴けるようになってきたので少しは治ってきたかな。





[土手に、](#) [2008-09-11 22:11 by guminomi2]



芙蓉の花が、

---

咲いている、今年も。



[芙蓉の花が、](#) [2008-09-13 22:00 by guminomi2]



## 十五夜の月。

---

月はいつまで見ていても飽きることがない。

ああ、なつかしいなあ！

昔の私も、もっと昔の私も、もっともっと・・・古代の人も、  
草も木も動物も、見ていたんだ。

こんな時にはグールドのフーガの技法がよく似合う。



[十五夜の月。](#) [2008-09-14 23:11 by guminomi2]

調律師。

---

一年に一度の電話がかかってきた。  
それはいつもの人ではなかった。  
声が似ていていつもの人だと思っていた。  
去年の終わりにやめたらしい。  
24年間の年に一度の付き合いだった。  
24年、お互い歳をとるのを見てきたのだ。

ピアノは弾かないけれど、調律は続けている。  
ピアノもまたこの家の一員である。

さて、来週あたらしい調律師がやってくる。



[調律師。](#) [2008-09-19 22:27 by guminomi2]

ヒガンバナのころ。

---



[ヒガンバナのころ。](#) [2008-09-23 16:05 by guminomi2]



調律師、続き。

---

調律師、来る。

今日は朝から、頭痛持ちの頭痛の日。

薬が効いてくれない。

なんて、とんがった音なんだ！

まるで、叩いているみたいじゃないか！

去年までは、ショパンのバラードを聴いているようだった。

快い眠りに落ちていきそうだった。

調律とは、やる人によってこんなにも違うものか！？

今はやってないが、オーケストラでたいこを叩いていたという。

どうりで！！

調律もたいこ風なのだ！

前の方は、コロンの匂いがしそうなすらりとしたハンサムボーイ（昔）で、

今の方は、体もたいこ風である。

100ワットの電球の下で汗をかきかき、少し気の毒であった。

ピアノの音は、軽くなっている。





[調律師、続き。](#) [2008-09-24 15:50 by guminomi2]

### シャチハタ模様③。

一面の下のほうにこんな広告を見つけた。

③と書いてあるので3回目だと思うが初めて気がついた。

いいね！いいね！

こういうのを見つけると、ああ、新聞とっててよかった、と思う。

この監督の映画は見たことないけれど、TVの印象とも違う。

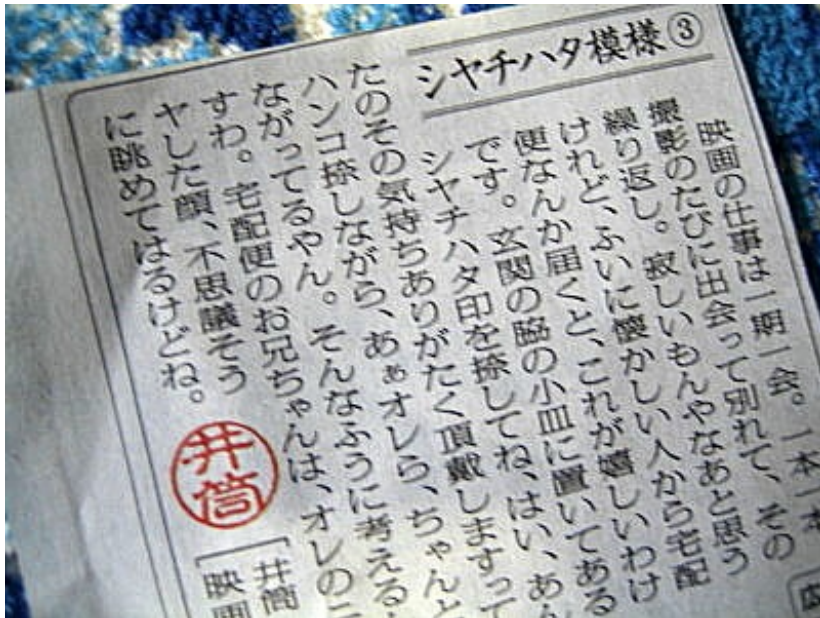
本音がひょいと出てる、という感じで。

このハンコ、受け取りのとき、何気なく使っているけれど、

この何気ない広告、ぴったりだね。

雨模様、雪模様、とあるが、こんな言い方もあるんだなあ。

なんだか私も使ってみたくなった。



[シャチハタ模様③。](#) [2008-10-05 14:33 by guminomi2]



金木犀の季節。

---

ベランダにむせかえる匂い。

家の中も通り抜けていく。

思い出の田舎の秋祭りのトンテントンと、

金木犀の匂いと。



[金木犀の季節。](#) [2008-10-10 22:21 by guminomi2]

## ETV特集、

---

「戦争は罪悪である」を見る。  
こういうのを見ると、日本はまだ生きている、  
と、思ってしまう。  
それにしても、50年も、70年も経たないと、  
本当のことが言えるようにならない、とは！  
そして、このタイトルは、今も有効である。  
今こそ、有効であり、永遠に有効である。



[ETV特集、](#) [2008-10-12 23:36 by guminomi2]

帰郷。

---

行く川の流は絶えずして・・・



[帰郷。](#) [2008-10-21 22:33 by guminomi2]



コメント。

---

時々妙なコメントが入る。  
知り合いのブログにも入っているときがある。  
面白いのかなあ、不思議だ。



[コメント。](#) [2008-10-27 21:22 by guminomi2]

植木屋さん。

---

植木屋さんの季節。

機械とはさみでサンパツ。

いい歳のおじさん二人。

大きい声。

昼、弁当を食べている。

じつに、うまそう。

私は職人さんの弁当が、一番うまそうに見える。

風呂場の小窓から、こっそり見る。

ああ、うまそう。



[植木屋さん。](#) [2008-11-02 23:09 by guminomi2]

一休み。

---

立冬。



[一休み。](#) [2008-11-07 22:43 by guminomi2]



## 空母「オリスカニ」

---

「非核三原則」の持ち込ませず、は、  
何となく嘘であろうとほとんどの人が思っていたに違いない。  
これほど日本向けの言葉はないような気がする。  
今日のNHKスペシャルで完全に証明された。  
1953年から原子力空母が寄港していたのだ。  
広島も長崎も壮大な実験だったような気がする。  
いままた、TVがロシアの原子力潜水艦が事故を起こしたと言っていた。  
50年も経たなければ真実を知ることができないなんて。  
いや永久に知ることのできないことのほうがはるかに多いだろう。

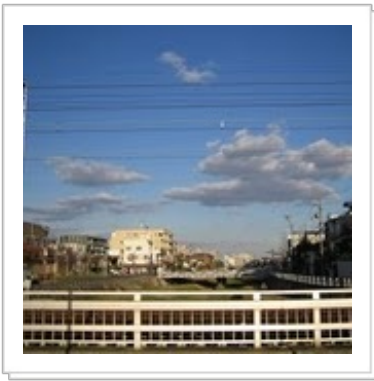


[空母「オリスカニ」](#) [2008-11-09 23:29 by guminomi2]

ラピュタな雲。

---

空気の澄んだ日。



ラピュタな雲

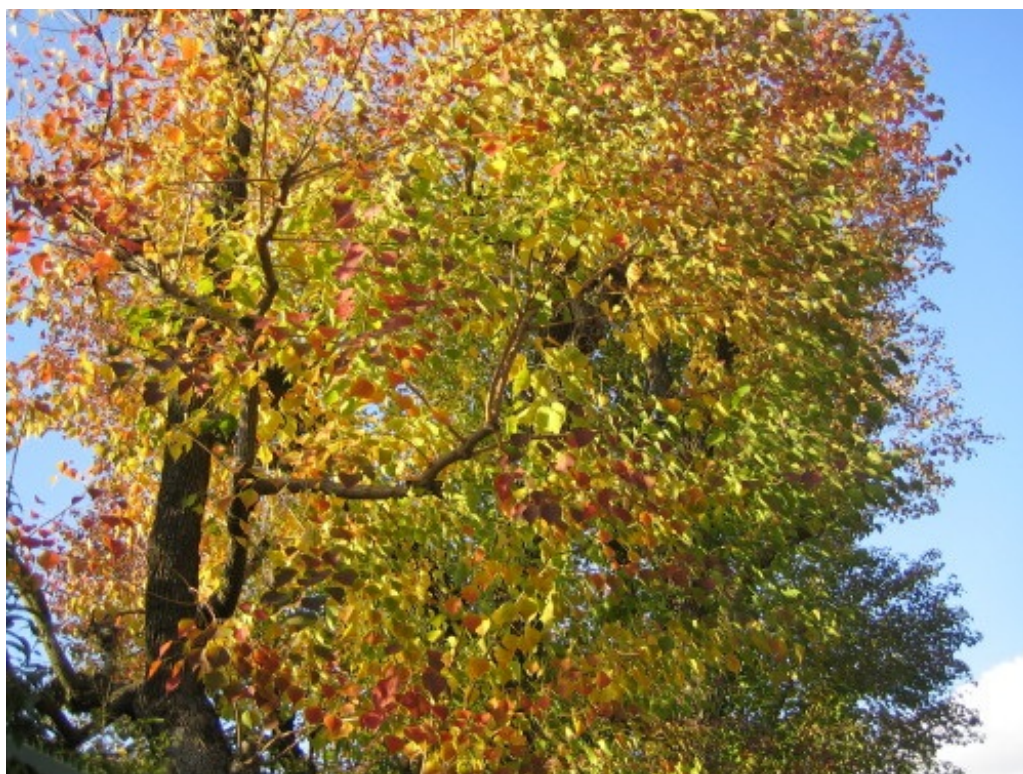
[ラピュタな雲。](#) [2008-11-21 23:11 by guminomi2]



紅葉。

---

周辺もみじ。







[紅葉。](#) [2008-11-29 22:20 by guminomi2]

冬のバラ。

---

今年も明日一日。

治りそうになると復活する風邪。

突然の坐骨神経痛。

こんな一年の終わりもありなのだ。

これでいいのだ。



[冬のバラ。](#) [2008-12-30 23:29 by guminomi2]